

# 環境情報科学に関するポスターセッション (計61題)

↓ 展示場所は以下の通り(数字は発表番号)  
注)発表者の皆様へ:発表番号と受付番号は異なりますので  
留意ください

展示会場 会場4・会場5<大講堂(A・B会場)>

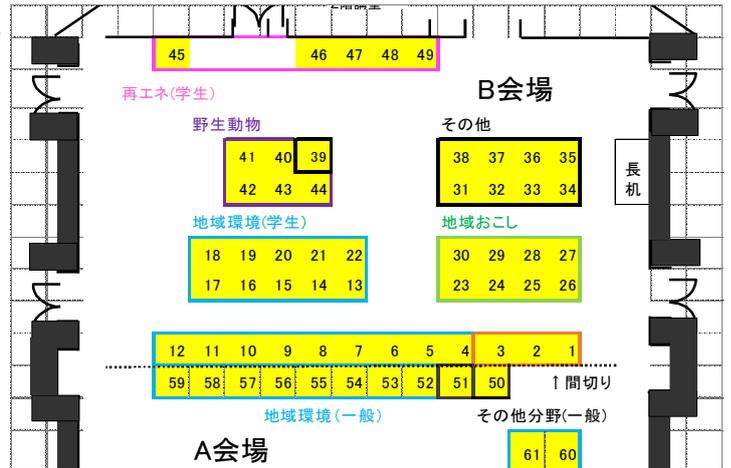
展示時間 10:30~14:00

発表区分 学生の部・一般の部

発表時間

発表番号(奇数) コアタイム11:30~12:30

発表番号(偶数) コアタイム12:45~13:45



## 【学生の部】

発表番号	タイトル(登録時)	筆頭発表者(所属)
1	AIによる被災箇所抽出モデルと集水域別発生確率モデルを融合した土砂災害の早期検知	田中 優也(立正大学大学院地球環境科学研究科)
2	表層土壌汚染物質の多様な曝露経路からの曝露量・健康リスク評価	濱邊 将秀(横浜国立大学大学院環境情報学府)
3	有機塩素系溶剤汚染土壌の通気浄化実験の解析と中小規模事業所向け浄化手法の検討	鄭 桐偉 ティトウイ(横浜国立大学大学院環境情報学府)
4	和歌山県海南市下津地域におけるランドスケープの変遷	中谷 妃那(京都産業大学生命科学部)
5	京都市大原地区における地域資源としての赤シソの活用可能性	石本 湊人(京都産業大学 生命科学部)
6	森林を切り開くことによる、圍繞・眺望景観における快適性の上昇度合いの解明	浅野 悠人(慶應義塾大学 環境情報学部)
7	熱的快適性が屋外空間における滞在に与える影響に関する研究	グエン ヒュー クワン(筑波大学システム情報工学研究科)
8	生物多様性保全とカーボンニュートラルの両立を目指す持続的な森林管理の提案	鈴木勇登(慶應義塾大学 政策・メディア研究科)
9	企業のIR情報に見る都市緑地に関する第三者認証制度の取り扱いに関する研究	斎藤 すみれ(筑波大学理工学群社会学類)
10	住宅の内装材・家財を考慮した資材投入原単位の拡張に関する研究	林 優輝(名古屋大学工学部環境土木・建築学科)
11	生活環境圏のCO <sub>2</sub> 濃度と地域環境との関係性~CO <sub>2</sub> 濃度の実測データを活用した地域環境評価指標に基づく検証	プリ バヌバクタ(名古屋産業大学大学院)
12	電気自動車政策にシナジーはあるのか? 質問紙実験とシミュレーションによる検討	秋山 知也(東京大学)
13	大規模言語モデルを応用した持続可能な開発目標(SDGs)のネクサス解析	宮下 直士(大阪大学工学研究科)
14	京都市における住民の緑地に対する意識と健康観との関連性	杉谷 洋輔(神戸大学大学院)
15	環境基本計画におけるパブリックコメントの変遷と政策反映:第4次から第6次の比較分析	石井 康平(千葉大学大学院人文公共学府)
16	LAND COVER ANALYSIS OF FLOOD HAZARD AREAS IN METRO MANILA, PHILIPPINES	カガンバン マークアンジェロ(名古屋大学環境学研究所)
17	Environmental Impacts of Buildings in Central Business Districts of Metro Manila, Philippines	ウルメニータ フランシス(名古屋大学環境学研究所)
18	熱赤外域リモートセンシングデータを活用した市街地の土地被覆分類に関する研究	徐 伍華 ジョウカ(筑波大学システム情報工学研究群)
19	安全で公正な活動空間(SJOS)に基づく2010-2022年の環境・社会指標変化とパフォーマンスの国際比較	李 佳雲 リカヨ(大阪大学)
20	関与物質総量の観点から見た都市の成長がもたらす環境負荷の評価 一名古屋市4D-GISを活用してー	丹羽 倫太郎(名古屋大学工学部環境土木建築学科)
21	気候変動適応に向けた洪水影響の空間分析	岡田 大翔(名古屋大学工学部環境土木建築学科)

22	「N.RECS」（根域環境制御装置）の適応性に関する研究～関東甲信越地方を対象として～	井上 柊（日本大学大学院）
23	人と地域をつなぐ地域交流拠点に関する研究－神奈川県関係案内所を事例として－	小笠原 七海（早稲田大学大学院）
24	地域社会において大人が子どもへ自然体験を伝承するようになるまでの心理的過程の分析	吉富 瑠夏（茨城大学大学院農学研究科）
25	奄美大島宇検村におけるカミミチ空間の変容とその継承	宮脇 由奈（名古屋市立大学）
26	「世田谷地区に定住するZ世代の交通手段の選択に関する現状分析と課題に関する研究」	劉 茜茜 リュウ センセン（早稲田大学）
27	軽井沢町におけるエコツーリズム事業推進の現状分析と課題に関する研究	張 シン（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科）
28	GPSデータを用いたスポーツイベント来場者の行動分析	上山 滉介（筑波大学理工学群社会学類）
29	鳥取県過疎地域における総合診療の受容と住民の受診行動の分析	作道 雅楽（明治大学農学部食料環境政策学科）
30	『オーバーツーリズム対策における地方行政の役割に関する考察-川越市を対象とした現地調査およびインタビュー調査を通じて-』	萩原 勇太（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科）
31	都市型有機農業におけるオーガニック野菜の需要意識に関する研究～消費者・生産者・販売者意識の差異に着目して～	稲本 暁紀（早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科）
32	他者の存在が外食時の食品ロス削減意識と行動に与える影響に関する研究	岩澤 龍河（早稲田大学大学院）
33	芋脂に対するトルマリン水の洗浄効果の検証	遠竹 涼音（鹿児島大学大学院）
34	ネパールにおける小学生の環境意識と環境行動	アディカリ ポハラ プジャ（名古屋産業大学）
35	教員養成課程におけるESD対応の評価：自然言語処理技術を用いた奈良教育大学のシラバス分析	吉田 洵（大阪大学）
36	森林等の炭素蓄積変化を考慮した木材の建築材利用とエネルギー利用によるGHG排出削減効果の評価	林 亮介（立命館大学大学院）
37	電気処理系機能水との併用による銀イオン水抗菌効果の検証	犬童 英恵（鹿児島大学大学院農林水産学研究科）
38	宅配ボックスの設置推進方策に関する一考察～補助制度が宅配ボックス設置率に与える影響を中心として～	邵 SHAO（早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科）
39	江東5区の小・中学校における水害に関する防災教育の実施状況と課題	床枝 紀香（日本大学理工学部海洋建築工学科）
40	猫の適正飼養に関する研究～飼育者による飼育前の情報探索行動に着目して～	邵 潔 ショウケツ（早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科）
41	野生植物の食用利用に対する若者の心理的態度の把握	内田 晶介（茨城大学）
42	環境DNAを用いた森林の生物多様性モニタリング手法の開発	川上仁之（慶應義塾大学 政策・メディア研究科）
43	昆虫食文化の家族内継承とそのメカニズム－東京都の学生を対象にして－	遠矢 浩気（NPO法人食用昆虫科学研究会/京都大学大学院地球環境学舎）
44	Yahoo!知恵袋に投稿された魚食に関する質問の分析	新井 遥香（東京海洋大学）
45	EV・PHEV車の消費者の購入意欲に関する調査－ガソリン補助金政策に着目して－	ビュウ コウチン（早稲田大学環境エネルギー研究科）
46	地域の環境・社会・経済への影響を考慮した再生可能エネルギー導入適地の多目的最適化	三井 健矢（大阪大学）
47	再生可能エネルギー条例と導入ポテンシャルの関係	宮本誠隆（東邦大学大学院理学研究科）
48	洋上風力発電の漁業影響に関する協議プロセスの事例研究 -長崎県西海市を対象として-	関 真大（東邦大学大学院理学研究科）
49	地熱開発のリスクコミュニケーションに求められる情報共有の手法に関する研究-坑井掘削において想定外の事象が発生した事例の分析から-	千脇 海都（東邦大学）

## 【一般の部】

No.	タイトル（登録時）	筆頭発表者（所属）
50	総合的な探究の時間を活用した環境教育実践とその評価	中田 義元（東邦大学）

51	用途分類における空間家計消費推計の自動・時系列推計計算アルゴリズムの開発及びサブモデル分割による拡張法の提案	牧 誠也 (国立環境研究所)
52	明治後期に日本を訪ねた西洋人旅行者(1878-1910)の風景記述	青木 陽二 (国立環境研究所名誉研究員)
53	オープンスペースのあるべき姿～「ハニカム公園」の社会実装～	天野 健作 (大和大学社会学部)
54	Does the Style of Adaptive Governance Affect Social and Ecological Systems? A Meta-Analysis of Case Studies	大野智彦 (金沢大学人間社会研究域法学系)
55	孤立可能性集落における自立分散型災害対応の体制構築に向けた実践的研究 ～長野県伊那市を事例として～	坪井 塑太郎 (帝京大学)
56	知の統合による地域社会イノベーション創出過程の検証～トキ米認証制度を事例として～	岩田 優子 (お茶の水女子大学)
57	新しい里山里海を創る人々を繋ぐコンソーシアム構築に向けた検討	包 薩日娜 杵 刈ヶ (国立環境研究所/京都大学フィールド科学教育研究センター)
58	廃棄物に対する個人の関心・行動が都道府県別の一般廃棄物の排出量に与える影響の検討	日下部 一晃 (福島県環境創造センター)
59	基礎自治体の総合計画を対象とした自然共生社会と気候変動施策間の関係性の可視化	木村 道徳 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
60	ヒアリング調査による地域における気候変動の影響とニーズの把握	岩見 麻子 (熊本県立大学)
61	カーボンニュートラルとネイチャーポジティブを同時達成するための地域社会システムの在り方について～脱炭素社会のシナリオ作りに関する研究の視	岩川 貴志 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

#### 【ポスターセッション実行委員会】

青松京香	明治大学食料環境政策学科	4 学年
作道雅楽	明治大学食料環境政策学科	4 学年
川上仁之	慶應義塾大学 政策・メディア研究科	修士 2 学年
宮本誠隆	東邦大学大学院理学研究科	修士 1 学年
瀧邊将秀	横浜国立大学 大学院 環境情報学府	修士1学年